

令和8年第1回

山都町議会定例会

提案理由説明書

令和8年3月5日

令和8年第1回定例会を招集しましたところ、御参集を賜り、誠にありがとうございます。

この冬は、例年以上の冷え込みをみせ、町内全域で長期間の凍結や渇水のおそれが高まるなど、水の確保に危機感を覚えたシーズンとなりました。これまで、極端な降雪量はなく安堵しているところですが、雪の量が年々減っているようにも感じています。降雪量の変化は、交通の麻痺や農業施設への損害といった被害だけでなく、地下水の涵養にも大きく影響を与えるため、注視しておきたいものです。

さて、昨年8月の豪雨災害に係る熊本県を通じた人的支援として、大分県の技師職員1名を派遣いただき、農林振興課農村整備係において、農業災害復旧事務に取り組んでいただいています。派遣期間は、12月から3月末までで、2月に交代された2人目の方が現在従事されており、来年度においても1名派遣いただくことで調整しています。

災害復旧の対応に際し、他団体から応援をいただいている事に関して、大変ありがたく、感謝の念に堪えないところであり、近日中に、改めて大分県に対し感謝の意を申し上げに参る所存です。

次に、ふるさと納税指定団体取消しに伴う返礼品事業者の応

援等に関しご報告いたします。

1月下旬に県の銀座ジャックに相乗りさせていただき、東京銀座の無印良品銀座において、山都町の物産販売を行いました。2つの事業者が参加され、多くの賑わいを見せました。また、その他、県庁地下売店での販売会や2月20日に大阪で開催された「くまモンファン感謝祭」、2月末の「かみましきマルシェ」と県から多大なご支援・ご協力を賜り、大変感謝申し上げます。さらに、今月下旬には、銀座熊本館において「山都町フェア」を予定しており、来年度においても山都町を広く紹介できる場を確保して参りますので、返礼品事業者のみならず、町内の事業者におかれましても、この機会を有効にご活用いただきたいと思っております。

なお、今回の事案を客観的な視点で検証いただくために、第三者調査委員会を設置し、現在、検証していただいております。町の意志が介入しないよう独立した形で調整されており、これまで3回、また、明日と今月末にもそれぞれ1回の開催を計画されています。早期の報告を期待していましたが、多様な角度から検証されていることから、年度内の報告は難しいとお聞きしており、検証結果を待ちたいと思っております。

一方、本町の監査委員から2月20日に行政監査結果報告書

が提出されました。業務体制と配置、文書決裁及び文書管理の徹底、法令順守意識の向上、再発防止に向けた内部統制の構築について意見をいただきました。

このことを受け、私および副町長の処分につきましては、第三者調査委員会の報告を受けた後と考えていましたが、年度内にけじめをつけたいという思いから、今定例会の会期中に処分案を追加提案させていただきたいと考えています。

町監査委員からいただいた意見について、役場内のガバナンス面に関して先行して取り組める分については検討を進めると共に、今後提出される第三者調査委員会の報告と合わせ、適切に対応して参ります。

次に、1月30日に、旧御岳グラウンドにおきまして、上益城消防組合山都消防署新庁舎建設工事に係る起工式が執り行われました。この工事は、老朽化が進む現在の山都消防署への対応として、上益城消防組合が施工されるものです。令和9年度の開署を予定されており、工事期間中は、周辺の地域住民の方には大変ご迷惑をおかけしますが、本町にとって重要な施設でもありますので、工事へのご協力をお願いいたします。

また、山都消防署蘇陽出張所におきましても老朽化や環境改善に伴う改修が本年8月まで行われ、その間、事務所を蘇陽支

所内に仮移転していただき、業務を行われますので、ご用の方はご留意ください。

なお、工事期間中、いずれにおいても、119番通報による救急対応等をされます事を申し添えます。

次に、国の令和7年度補正予算により各自治体に交付された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金ですが、まず、取り急ぎ、交付金のうち特別加算分を活用し、1月1日付で本町に住民登録のある町民の皆さまに対し、使用期限を設定した5千円分の商品券をお配りすることとし、2月中旬頃から郵送を始めました。町内の多くの事業者に登録いただいていますので、使用期限の5月末までに有効にご活用いただければと思います。金額が少ないというご意見も伺っているところですが、国が示す他の支援メニューの活用も検討したく、取り急ぎ、国の意向を踏まえた特別加算分の活用を念頭に置いたものです。ご理解いただきたいと思えます。

交付金の残り分に関しては、その一部を支援メニューとして令和8年度当初予算に計上するとともに、その他の残り分は、令和8年度内に効果的に活用できるよう調整して参ります。

次に、令和元年5月に策定した山都町グランドデザインの主要事業である、山都町総合運動公園整備及び通潤橋周辺整備の

両方の工事が3月までに竣工することに伴い、4月29日に、総合体育館パスレル、通潤橋ミエルテラス一帯において、完成記念として「山都町グランドデザイン竣工記念イベント」の開催を計画しています。

総合運動公園は、既に供用している芝生広場、総合体育館パスレル、サッカー場、子ども広場を、大変多くの方に利用いただいております。総合運動公園全体の完成により、さらに多くの賑わいが期待されます。

通潤橋ミエルテラス一帯は、現在、観光客の方にご迷惑をおかけしていますが、工事着手前の景観から大きく変わりますので、完成後は、通潤橋一帯の景観を含め、新たな趣を感じ、また楽しんでいただければと思います。

このほか、主な出来事等を「広報やまと」に紹介していますので、ご覧ください。

なお、新聞紙面にも掲載されましたのでご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、熊本日日新聞社主催の令和7年度広報コンクールで「広報やまと」が広報紙町村部で佳作を受賞いたしました。広報担当職員の取り組みのみならず、町民や関係団体の皆さまのご協力あつての成果であると感じております。担

当職員の功績を讃えるとともに、その労をねぎらいたいと思います。今後とも町民の皆様や関係団体の皆様の応援をよろしくお願いいたします。

次に、今定例会に提案しております議案につきまして、概要を説明いたします。

今回の定例会に提出する議案は、条例6件、補正予算3件、当初予算6件、その他7件の計22件です。

条例6件のうち、5件はそれぞれ必要な条例の一部を改正するもの、1件は新たに条例を制定するものです。

補正予算3件は、令和7年度の一般会計及び特別会計に関するものです。

当初予算6件は、令和8年度の一般会計及び特別会計並びに事業会計に関するものです。

一般会計では、国や県の予算編成の動向を踏まえつつ、今定例会で提案いたします「第三次山都町総合計画」に示しました、町の将来像「山の都の魅力を活かし、みんなで築く誰もがすみたいまち」をイメージして、その実現に向けた予算編成を行いました。この将来像を実現するため、3つの重点目標と実効性を備えた6つの基本目標に沿った各種施策を展開したいと考

えています。また、具体的な取組みの一つとして、国が実施する小学校給食費無償化への対応に加え、町独自で進める中学校給食費の無償化を予算化しました。そして、町の発展を支える重要な農業施策や移住・定住促進施策を着実に進めるとともに、物価高騰への対策も一部先行して取り組む予定です。さらに、昨年8月の豪雨災害からの復旧を最優先課題と位置づけ、総額174億3,600万円の予算を編成しました。

その他7件のうち、1件は、第3次山都町総合計画を策定するもの、1件は、山都町過疎地域持続的発展計画を策定するもの、1件は、山都町教育委員の任命について同意を求めるもの、3件は、山都町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めるもの、1件は、指定管理施設の指定管理者を指定するものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させますので、適切な決定をいただきますようお願いいたします。